

農業で地域を元気にしたい「スフィーダ」の挑戦。

●20代の彼らが農業生産を始めた理由

2.5町歩の田畑を耕し、4月からハウス栽培も始めた農業生産者スフィーダ。メンバーは白井陽さん、白井俊充さん、保坂進之介さんの3人でいずれも20代。陽さんが、田舎の野菜をネットを使って都会へ売ろうと考えたのが始まりでしたが、後継者不足と耕作放棄地の実態を知り、自分で農業を始め、俊充さんが賛同。2009年、3反の耕作放棄地を耕し、東京から手伝いに来た保坂さんが3人目のメンバーに。「農業をやって稼げるなら、外から若者が来たり、出て行く人も少なくなる。若い世代で農業を盛り上げ、耕作放棄地をなくしたい。」と白井さんたちは語ります。



▲ 左から、白井俊充さん、白井陽さん、保坂進之介さん

●「スフィーダ」がめざすもの

スフィーダがめざした農業は、有機無農薬栽培。地域の先人たちに指導を仰ぎながら、誰もが安心して食べられる米作りや野菜作りに取り組んでいます。少数多品目で、その数110種類以上。「おいしいものをきれいな形」で提供することを目指しています。個人、スーパー、レストランと販売先も広がってきました。「ここまで来れたのは周りの人たちの応援あってこそ。これからもご縁をつなげ、だんだんと大きくなっていければと思っています」と俊充さん。淡々とした口調のうらに強い想いを感じました。(新城センター 杉江佳奈)



▲「しんしろ旬のひろば」ではおいしそうな野菜が並びます



スフィーダ ●新城市杉山字前野16-2 ●090-1569-0581 ●http://sfida831.com

編集後記

この春から東三河ヤクルトに多くの社員が入社し、「おもやいっこ編集チーム」にもたくさんのおもやいっこメンバーが加わりました。今回からさっそく新入社員も加わって「おもやいっこ」の制作に。取材先での聞き取りや原稿の作成に悪戦苦闘しながらも無事に発刊することが

できました。「取材にはぜひ立ちあいたい!!」という新メンバーからの意気込みを感じながらの力作です。協力してくださった関係者のみなさま、ありがとうございました。

(おもやいっこ編集チーム)

東三河ヤクルト販売株式会社 豊橋市花中町54番地 TEL.0532-31-8960

- 花中センター 豊橋市花中町54番地 0532-32-0301
- 豊橋東センター 豊橋市西小鷹野4丁目8-12 0532-62-3374
- 弥生センター 豊橋市弥生町中原16-2 0532-46-5379
- 二川宿センター 豊橋市大岩町東郷内232 0532-41-2628
- 田原センター 田原市神戸字新大坪18 0531-23-1860
- 小坂井センター 豊川市伊奈町佐脇原500-252 0533-72-6321
- 豊川みなみセンター 豊川市堺町2丁目27 0533-84-0744
- 稲荷センター 豊川市豊栄町7-1 0533-85-0816
- 新城センター 新城市片山538-9 0536-22-2611

